平成25年度　事務事業評価シート

※平成24年度に実施した事業を評価しています

事務事業名称	伊佐沼公園整備								継続
コード	24	－	62	－	02	－	00	予算事業名	伊佐沼公園整備
担当部署	都市計画部		公園整備課			大規模公園担当		予算事業コード	会計 10 款 08 項 04 目 05

1. 事業の位置付けと関連計画、関連事業等

第三次川越市総合計画上の位置付け（太枠内）　位置付けなしの場合

基本目標(章)	3章	人と環境にやさしい、快適な基盤を備えた魅力あるまち	実施計画事業名	伊佐沼公園整備
方向性(節)	3節	自然と調和した基盤づくり	個別計画等の名称	伊佐沼及び伊佐沼周辺整備基本構想、伊佐沼公園基本計画
施策	4	水辺と森林の整備		
細施策	2	伊佐沼周辺の整備	当事業に関連する事務事業	なし
事業実施の根拠となる法令・条例等	都市公園法			

法令による実施義務　義務ではない

2. 事業の目的と概要

事業の目的（誰・何を対象に、何のために実施するのか）	伊佐沼及び伊佐沼周辺区域の自然環境等を活用整備することにより、水と緑の調和の取れた自然学習の場、市民の多様なレクリエーションの場とする。
事業の概要（活動内容、実施手段・方法など）	伊佐沼周辺について、伊佐沼公園基本計画に基づき整備を推進する。

3. 実施にかかるコストと実績

（単位:千円）

		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
予算額		1,950	460	205	2,796	5,120	
（25年度予算額大幅増／減の理由）		公園用地拡張に伴う借地料及び管理費					
事業費	A	122	2	1	1,608	5,120	7,110
人件費	B	2,201	2,201	2,201	2,935	2,935	3,669
総コスト（C＝A＋B）		2,323	2,203	2,202	4,543	8,055	10,779
正規職員（1年間の従事人数）		0.30人	0.30人	0.30人	0.40人	0.40人	0.50人
臨時職員（1年間の従事人数）		0.00人	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人
国県支出金	D						
その他特定財源	E						
市の財政負担（＝C－D－E）		2,323	2,203	2,202	4,543	8,055	10,779

※25年度、26年度の事業費、人件費は見込額
※臨時職員の給与も、人件費に含みます。

4. 成果指標・活動指標による分析

評価指標		単位	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度目標値	将来目標値
成果	用地取得率（借地含む）	%	26.5	26.5	26.5	34.0	34.8	年度 －
	指標の定義・説明		用地取得面積／13．5ha　%					
活動	委託及び工事実施件数	件	1	0	0	2	2	年度 －
	指標の定義・説明		当事業で実施した委託及び工事実施件数					
活動	委員会等実施回数	回	1	1	1	1	1	年度 －
	指標の定義・説明		「川越市伊佐沼及び伊佐沼周辺整備推進会議」、「同委員会」、「官学連携」の実施回数					
								年度
	指標の定義・説明							
指標に基づく評価			伊佐沼及び伊佐沼周辺の水、緑の自然環境を最大限に活用し、市民の総合的なレクリエーションの場として整備するものであり、総合計画等の各種行政計画にも位置付けられている。今後も厳しい財政状況等が予想されるが、国庫補助金等の導入、民間活力の活用等を視野に入れながら、効率的に事業の推進を図っていきたい。					

5. 事業の実施を通じた分析

(1)　現在の課題と状況　効率性に課題

本事業は、莫大な用地費及び施設整備費が必要であり、昨今の財政状況等から勘案すると、事業化するためには、他の事業との兼ね合い等を見ながら進捗を図らなければなければならない。また、民間活力導入等の効率的な事業手法についても検討していく必要がある。

(2)　比較参考値（他市での類似事業の例など）

(3)　事業を廃止・縮小したときの影響

伊佐沼公園計画については地権者及び住民等からも大いに期待されていることから、廃止・縮小になった場合は大きな反響があると思われる。

平成25年度事務事業評価　方向性提示シート

所管部署			都市計画部				公園整備課	大規模公園担当
事務事業名称			24	62	02	00	伊佐沼公園整備	
今後3年間の方向性	25年度	改善（見直し）	本事業は、平成13年度に公園基本計画が策定されて以来、計画実現に向けての動きがなかった。平成25年度は、一部計画敷地の借地部分について暫定的に花などの植栽を行う計画です。今後は、伊佐沼周辺の環境を活かした活用策について再度検討を進める。					
	26年度	継　続	一部計画敷地の借地部分について引き続き暫定的に花などの植栽を行い。市民の憩いの空間としての活用を図る。また、伊佐沼周辺の環境を活かした活用方法の検討内容について関係部署との協議を進め事業推進を図る。					
	27年度	継　続						